

# 2018年12月期(2018年度)第1四半期 決算説明資料

2018年5月11日

東洋ゴム工業株式会社

## 資料の内容

1. 2018年12月期（2018年度）第1四半期業績 実績
2. 2018年12月期（2018年度）第2四半期業績 予想

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。

# 2018年12月期第1四半期実績

(百万円)	2018年度 第1四半期 実績	2017年度 第1四半期 実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	93,741	98,078	△4,337	△4.4%
営業利益 (利益率)	10,596 (11.3%)	12,105 (12.3%)	△1,509	△12.5%
経常利益	8,521	10,046	△1,524	△15.2%
四半期純利益	6,730	5,880	+849	+14.4%

※四半期純利益:親会社株主に帰属する四半期純利益

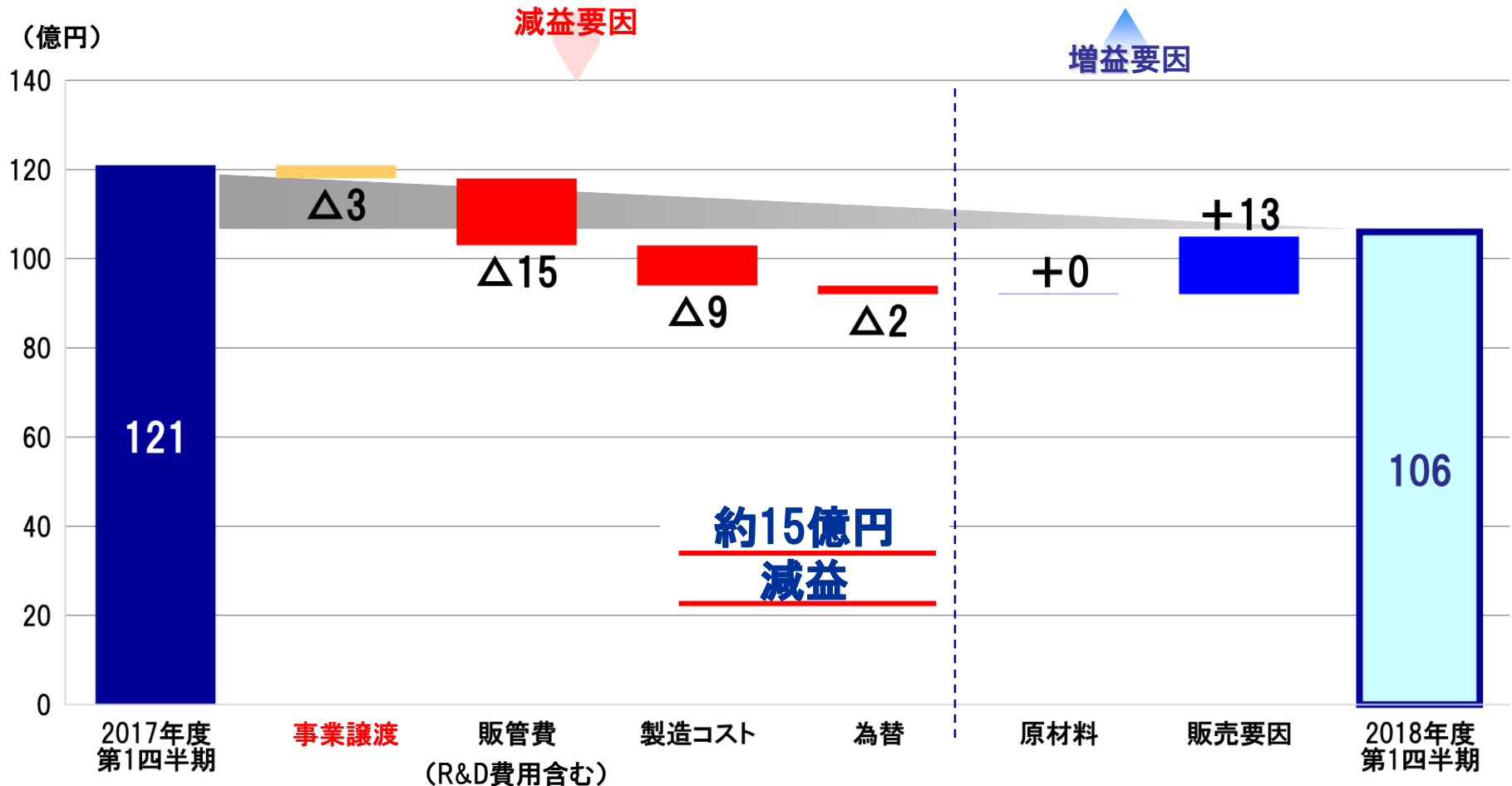
為替 レートの	USD	109円	114円	△5円
	EUR	134円	121円	+13円

2018年度通期 為替感応度	
USD	5.0億円/年
EUR	1.0億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき

# 2018年12月期第1四半期実績 営業利益増減要因

2017年度 第1四半期実績	増減	2018年度 第1四半期実績
121	△15	106
	△29	+14



# 2018年12月期第1四半期に対する免震ゴム対策の影響

(ご参考)

(単位:百万円)	第1四半期
55棟(2015年3月13日公表分)	—
99棟(2015年4月21日公表分)	—
諸費用	724
補償費用等	634
合計	1,359

2015年12月期 通期累計	2016年12月期 通期累計	2017年12月期 通期累計
23,063	17,034	608
7,386	35,068	12,281
12,104	10,418	3,156
4,119	4,260	2,590
46,674	66,781	18,637

## 項目内訳

第1四半期	55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費は計上なし。補償費用 約6億円、諸費用(主として免震ゴム対策本部人件費等)約7億円を計上。
第2四半期以降	現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用がある場合には、対処進行状況等によって追加計上する可能性あり
交換・改修の実績 (3月31日現在)	55棟(G039) : 43棟着工 (うち製品交換の完了39棟) 99棟(G039以外) : 51棟着工 (うち製品交換の完了39棟)

## ●売上高

(百万円)	2018年度 第1四半期実績	2017年度 第1四半期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ	80,776	78,825	+1,951	+2.5%
自動車部品	12,948	13,491	△543	△4.0%
化工品	—	5,748	△5,748	—
その他	36	59	△22	△39.0%
調整額	△20	△45	+24	—
合計	93,741	98,078	△4,337	△4.4%

## ●営業利益

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

(百万円)	2018年度 第1四半期実績	2017年度 第1四半期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ (利益率)	11,494 (14.2%)	11,774 (14.9%)	△280	△2.4%
自動車部品 (利益率)	△918 (△7.1%)	3 (0.0%)	△922	—
化工品 (利益率)	—	306 (5.3%)	△306	—
その他	27	27	△0	△0.4%
調整額	△7	△6	△1	—
合計	10,596	12,105	△1,509	△12.5%

## ●売上高

(百万円)	2018年度 第1四半期実績	2017年度 第1四半期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	27,780	32,645	△4,865	△14.9%
北 米	45,129	45,225	△95	△0.2%
そ の 他	20,830	20,207	+623	+3.1%
消去または全社	—	—	—	—
合 計	93,741	98,078	△4,337	△4.4%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

## ●営業利益

(百万円)	2018年度 第1四半期実績	2017年度 第1四半期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	6,709	6,770	△61	△0.9%
北 米	2,096	2,801	△704	△25.2%
そ の 他	1,608	1,859	△250	△13.5%
消去または全社	181	674	△492	△73.1%
合 計	10,596	12,105	△1,509	△12.5%

※ 2018年2月15日に公表されている業績予想から据え置き

(百万円)	2018年度 第2四半期 予想	2017年度 第2四半期 実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	189,000	192,041	△3,041	△1.6%
営業利益 (利益率)	20,600 (10.9%)	21,834 (11.4%)	△1,234	△5.7%
経常利益	18,900	18,695	+205	+1.1%
四半期純利益	12,400	11,076	+1,324	+12.0%

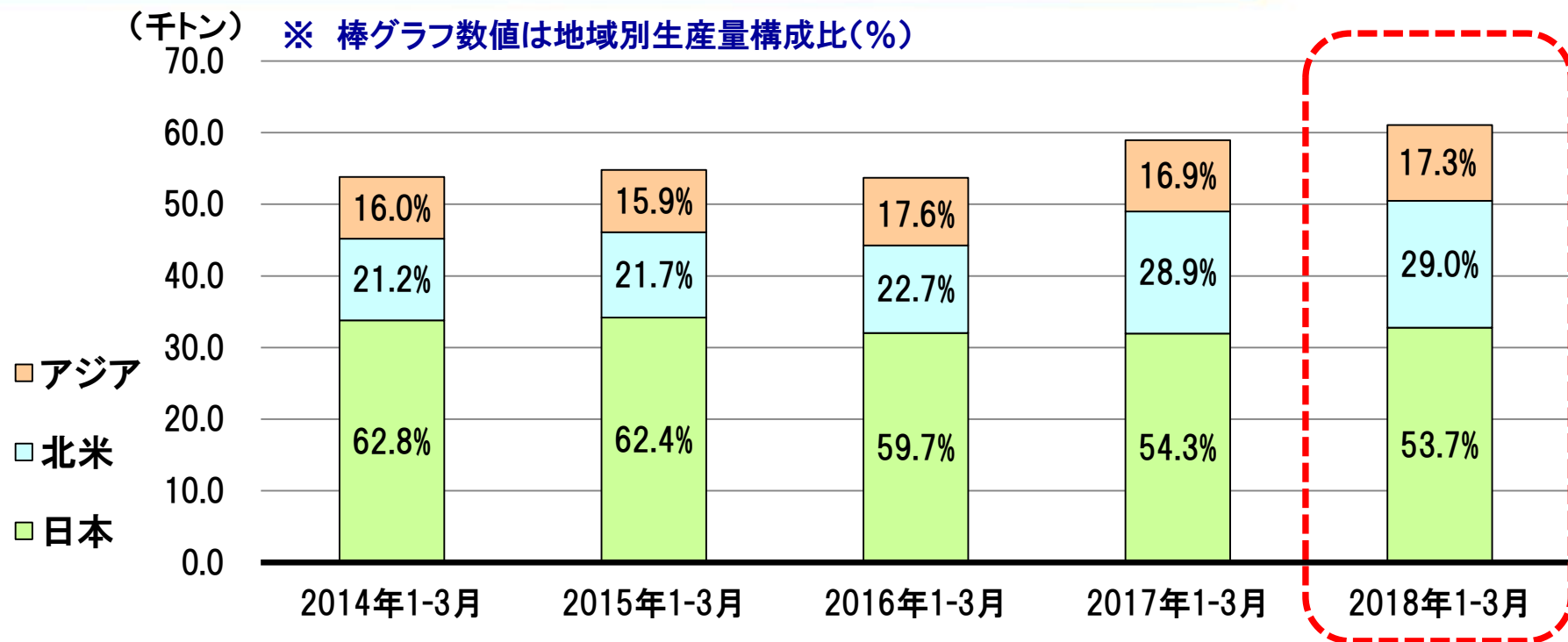
※四半期純利益:親会社株主に帰属する四半期純利益

為替 レート	USD	109円	113円	△4円
	EUR	132円	121円	+11円

2018年度通期 為替感応度	
USD	5.0億円/年
EUR	1.0億円/年

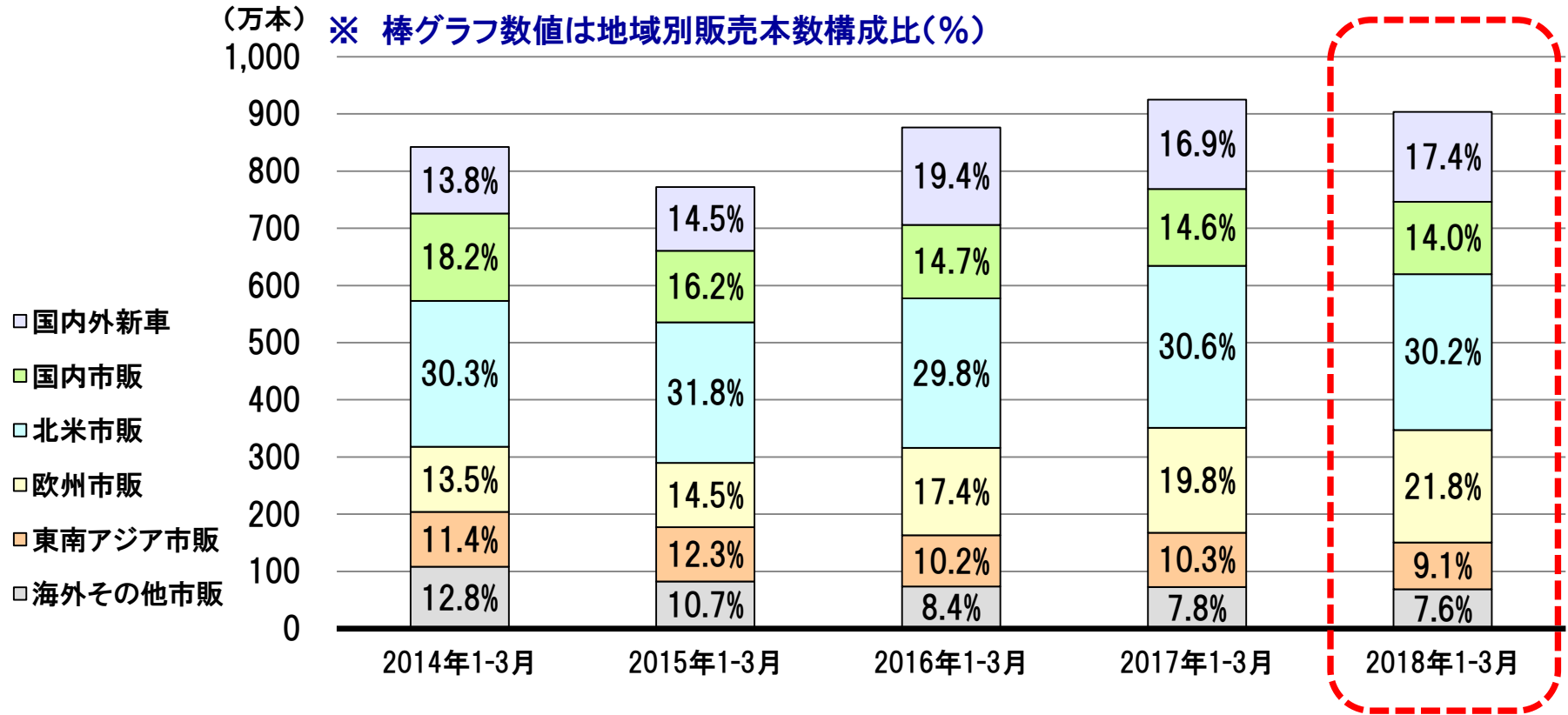


# (ご参考) タイヤ生産量(新ゴム量)の推移



(単位:千トン)		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
		1-3月	1-3月	1-3月	1-3月	1-3月
日	本	33.8	34.2	32.0	32.0※	32.8
北	米	11.4	11.9	12.2	17.0	17.7
ア	ジ	8.6	8.7	9.5	9.9	10.6
合	計	53.8	54.8	53.7	58.9※	61.1

# (ご参考) タイヤ販売本数 地域別構成比



販売本数構成比(%)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
	1-3月	1-3月	1-3月	1-3月	1-3月
市販合計	86.2%	85.5%	80.6%	83.1%	82.6%
うち海外市販	68.0%	69.3%	65.9%	68.6%	68.6%
うち国内市販	18.2%	16.2%	14.7%	14.6%	14.0%
新車合計	13.8%	14.5%	19.4%	16.9%	17.4%

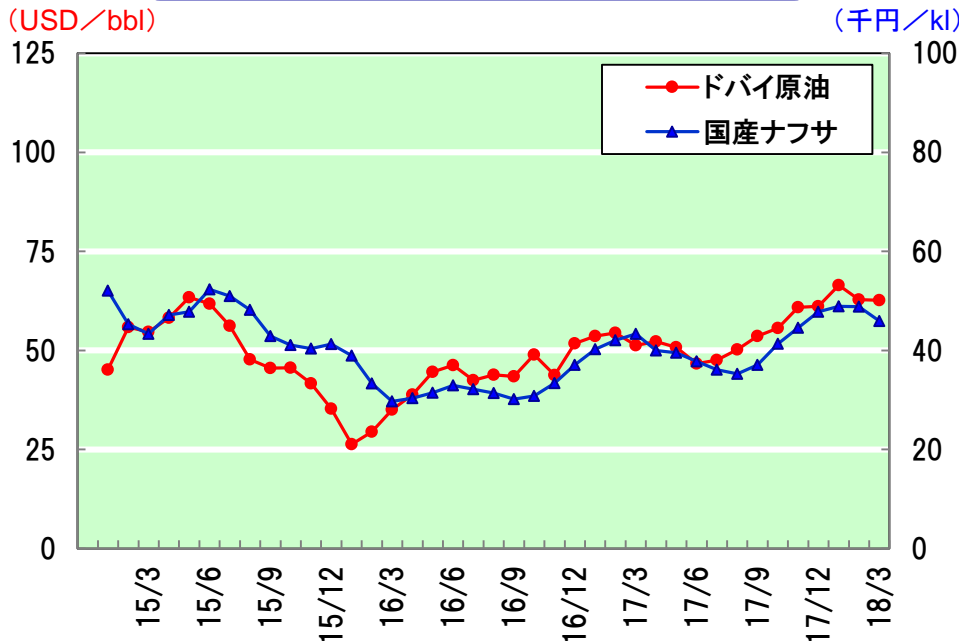
# (ご参考) タイヤ販売本数 地域別前年同期比推移

前年同期間を100とした場合の対前年比率

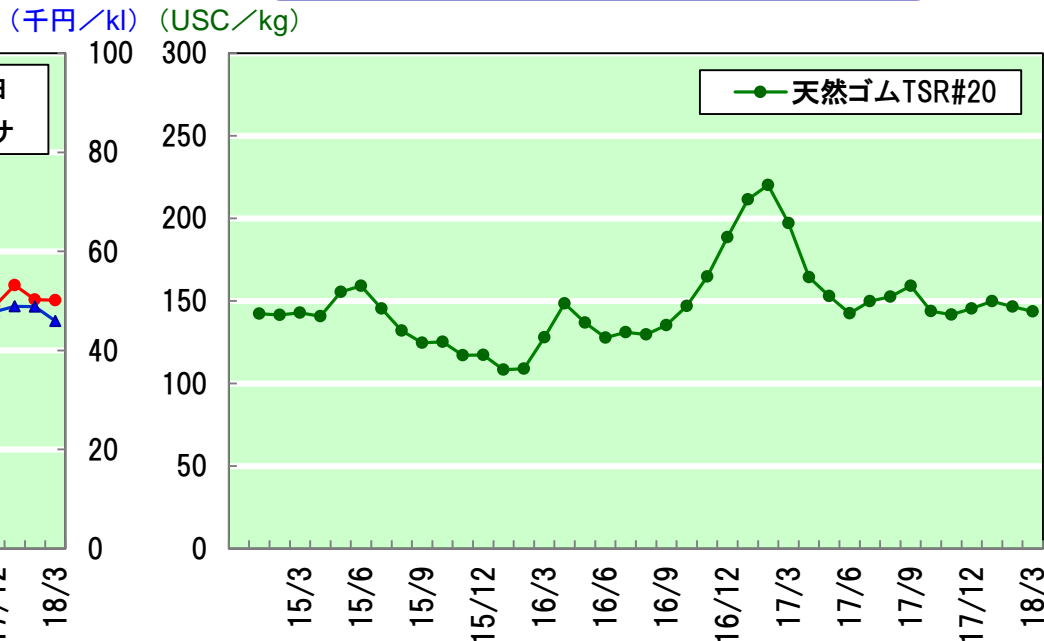
(単位:%)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
	1-3月	1-3月	1-3月	1-3月	1-3月
国内外新車	87	96	153	92	100
国内市販	124	82	103	105	94
海外市販	94	93	108	110	98
うち北米	103	96	106	108	96
うち欧州	114	99	136	120	107
うち東南アジア	115	99	94	106	86
合計	103	92	114	105	98

## ◆価格動向

### ドバイ原油、国産ナフサ価格推移



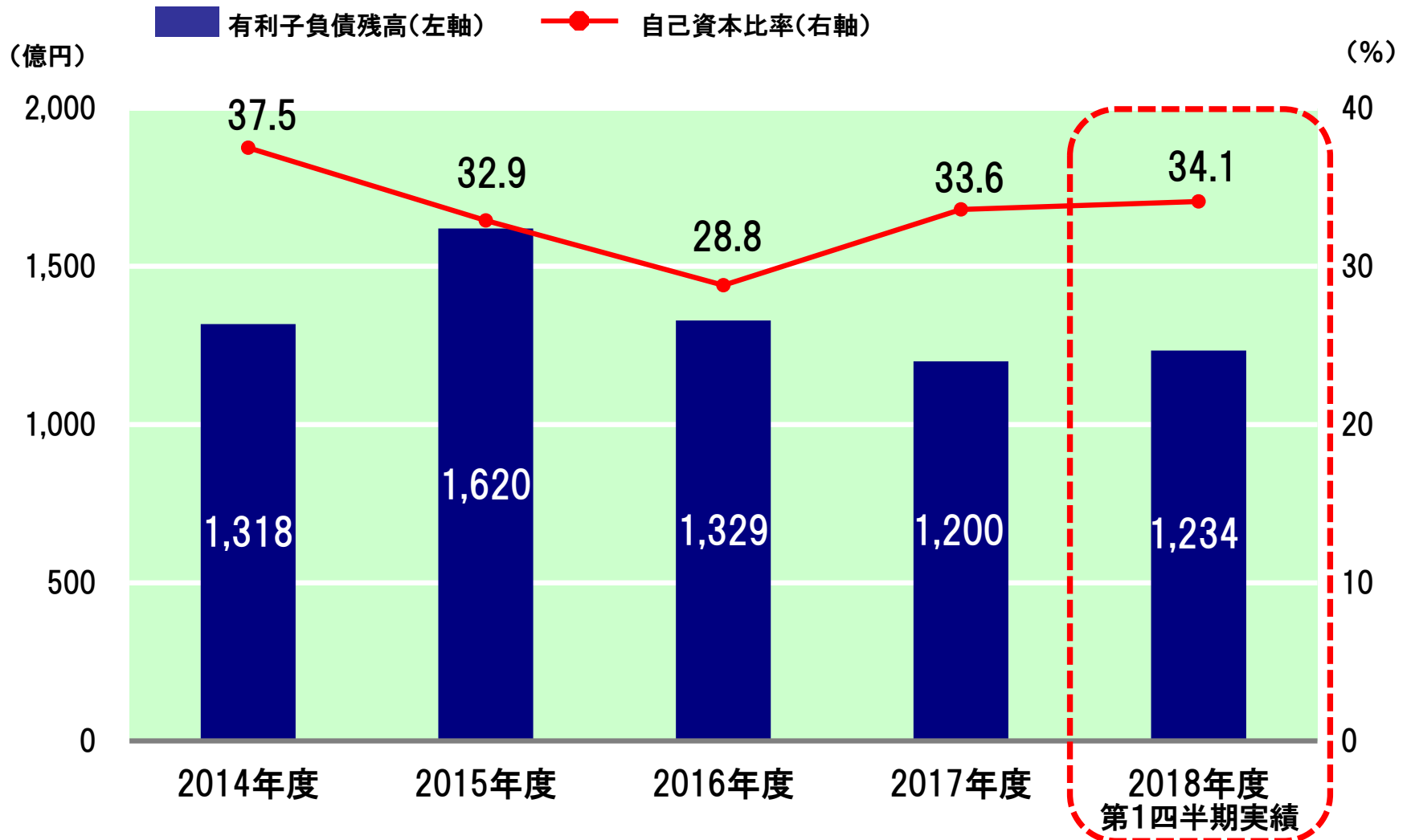
### 天然ゴムTSR#20価格推移(SICOM)



## ◆価格変動影響額 (営業利益ベース、単位:億円)

原 材 料 別	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 1-3月実績
天 然 ゴ ム	+69	+75	+25	△75	+15
石 化 品	△9	+99	+64	△77	+0
そ の 他 原 材 料	△4	+4	+11	+13	△14
仕 入 れ 製 品	+7	0	0	0	0
合 計	+63	+178	+100	△139	+0

# (ご参考) 有利子負債残高と自己資本比率の推移



再発防止策の進捗状況につきましては、  
四半期ごとに当社ホームページでの公表を継続して参ります。

The screenshot shows the TOYO TIRES website's progress report page. At the top, there is a navigation bar with the TOYO TIRES logo and the slogan "driven to perform". Below the navigation bar, there are several menu items: "TOP", "信頼回復に向けて", "免震ゴム問題への対応について", "防振ゴム問題への対応について", and "関連プレスリリース". The main content area is titled "進捗報告" (Progress Report) and includes a sub-section "再発防止策の進捗について (2018年2月15日公表分)" (Progress of Recall Prevention Measures (as of February 15, 2018)). Under this section, there are several key messages: "品質保証改善並びにコンプライアンス啓発強化" (Improvement of Quality Assurance and Strengthening of Compliance Promotion), "全事業にわたる全社的再監査" (Company-wide re-audit across all businesses), "CI明石工場の抜本的改革" (Fundamental reform of the CI Akashi plant), "品質保証再構築" (Reconstruction of Quality Assurance), and "コンプライアンス強化徹底" (Thorough strengthening of compliance). To the right of these messages is an "IRニュース" (IR News) section with a list of news items, including "第102回定時株主総会招集ご通知" (Notice of the 102nd Annual General Meeting) dated 2018.03.19 and 2018.03.05. A pink arrow points from a callout box to a video player in the bottom right corner of the screenshot, which displays the title "免震ゴム/防振ゴム問題への対応について" (Response to Seismic Rubber/Vibration Rubber Issues).

**免震ゴム/防振ゴム問題への対応について**  
→ 信頼回復に向けて(一連の問題に対する再発防止策)  
→ 進捗報告について  
( <http://www.toyo-rubber.co.jp/special/menshin/progress3/> )

***TOYO TIRES***  
*driven to perform*